

## DIYアドバイス業務に関して

### ■ 業務の流れ

|        | 具体的な業務内容  | 報酬の目安   |
|--------|---|---|
| ヒヤリング  | <p>メール・Tel・Fax等 ご都合のよろしい方法でご連絡ください。</p> <p>自力でどの程度まで施工可能か、直接事務所を見に来て頂いても構いません。</p> <p>大まかな内容をお聞かせ下さい。</p>   | 無料  |
| 現場確認   | <p>現場にて状況確認。</p> <p>ご希望の内容がどのような方法で実現可能か、検討させていただきます。</p> <p>ご自身で行うのは適していないと判断した場合や、私の経験では判断しかねる場合は、その旨正直にお伝えさせていただきます。</p> <p>より詳しい経験豊富な業界の方や職人さんをお連れさせていただくか、施工会社に依頼されることをお勧めするか、ケースバイケースでご相談させていただきます。</p>   | <p><b>A</b> ¥8,000 + 交通費 / 回<br/>(3時間程度)</p>  |
| 工事開始まで | <p>現場の状況やお持ちの道具、ご予算などを加味した現実的な施工法をご提案させていただきます。</p> <p>資材の手配の仕方・工事の進め方などもアドバイスさせて頂く他、状況によって必要と思われる留意点などをお伝えさせていただきます。</p> <p><b>B</b> ご希望の場合は、プラン自体やより良くなると思われるその他のアイデアも、設計者の視点からご提案させていただきます。</p> <p><b>C</b> 既存建物の 構造計算 + 耐震補強法(耐力壁や金物の選定等) のアドバイス業務</p>  | <p>メール・Tel・Faxなどでやり取り</p> <p><b>B</b> ¥10,000～</p> <p><b>C</b> 3～15万円 程度</p> <p>※ <b>B</b> <b>C</b> に関しましては、個々の事案により大きく異なりますので、ご相談の上決定させて頂いております。</p>   |
| 工事期間中  | <p>実際に進めだすと、色々な不明点が出てきます。</p> <p>この部材は取り除いていいのか、この材料で構わないのか、他に方法はないのか<br/>…etc</p> <p>不明点が生じましたら、随時ご相談ください。</p> <p>必要に応じて、現場に伺うことも、作業をお手伝いさせて頂くことも可能です。</p> <p>工具も状況によってはお貸しすることができますので、お声掛け下さい。</p> <p>(弊社が使用している期間以外であれば貸し出し可能です。</p> <p>・レーザー墨出し器 ・ディスクグラインダー ・電動丸のこ</p> <p>・電動サンダー ・振動ドリル …etc</p> <p>ドリルのビットやグラインダーの砥石等、消耗品はご用意下さい。</p> <p>長期間利用される場合や、今後も利用する可能性がおり場合は購入をお勧めします。</p> <p>利用のされ方によっては無料でお貸ししております。)</p> | <p>メール・Tel・Faxなどでやり取り</p> <p>&lt; 現場確認 + ご相談のみ &gt;</p> <p><b>A</b> ¥8,000 + 交通費 / 回<br/>(3時間程度)</p> <p>&lt; 現場確認 + 共に作業 &gt;</p> <p><b>D</b> ¥12,000～15,000<br/>+ 交通費 / 回 (内容によります)<br/>(9:00～17:00)</p> <p>※ <b>A</b> <b>B</b> <b>C</b> <b>D</b> 以外のメール・Tel・Faxなどによるアドバイス料として ¥10,000～30,000 頂戴しております。(工期や規模によります。)</p> |
| 工事後    | <p>不明点がございましたらいつでもご連絡下さい。</p> <p>逐一料金が発生するわけではございませんので、工事内容以外のことなどでもお気軽にご相談ください。</p>  |   |

### ■ その他のご留意点

- ※ 日常の設計業務と並行となりますので、ご相談者様の現場に赴く際、日程上ご都合に合い辛い時期もあるかと思えます。最善は尽くさせていただきますが、その点予めご留意頂けると幸いです。
- ※ 上記報酬に関しましてはあくまで目安です。ご予算に応じて柔軟に対処致しますので、ご相談ください。
- ※ 消費税は別途となります。

## ■ きっかけ

設計事務所に勤めていた時に、日々の業務を通して論理的な知識や設計業務としての経験値は積まれるものの、一日中パソコンと向き合う日々、どこか、バーチャルな感覚がぬぐえないでいました。

現場に赴いたりサンプルを取り寄せたりする中で、建築や素材に触れることはあるものの、頭では分かっているつもりで肉体的な感覚のなさに、漠然とした不安と言いますか、設計ってそういうことなんだろうかと、言う違和感があつたのです。

そういった理由から、より現場に近い工務店でも働き、材料を仕入れたり運んだり、多くの職人さん達と現場で毎日過ごす中で、頭の中と現実との違いを肌で感じ、実感として少しずつ建物を理解していったように思います。

設計者の図面が現場ではどうとらえられているかを目の当たりにできたのも、設計者として大変貴重な経験になりました。

また、職人さん達の仕事を拝見するうちに、クオリティはともかく、素人でも施工できそうな範囲、という自分なりの感覚も身につき、設計事務所を立ち上げるにあたって、住居部分(木造2階建て、延べ床面積80㎡の内装)の自力改修を試みようと思うに至りました。



・真夏の解体工事でガリガリに痩せたり…



・間に合わなくなって工事中に住み始めたり…



・キッチンやお風呂も取り付け…



・左官(漆喰)工事も行いました。

DIYアドバイス業務ではこういった経験を活かし、本職の方々のような本格的な道具がない中で、値段を抑えた現実的な工事の進め方を、設計者としてのアイデアも盛り込みながらアドバイスできればと考えています。

もちろん、普段異なる仕事をされておられる方が工事を行うことは、工事内容によっては危険が伴う場合がございます。どなたにでもお勧めするものではございませんが、ご興味がおありの方はお気軽にお問い合わせ頂ければと存じます。

一通りの工事を終え、今は自分で工事をしたという充実感もちろんです、設計者として自分が大切と感じる、材料に対する肉体的な感覚を得られたことの安心感の方が大きいです。何より、こんなことを許してくれたお嫁さんに心より感謝しています。ありがとう。

私の周りでも、DIYに興味を持たれている方は多くなっているように感じます。

金銭的な理由もちろんあると思いますが、高度に分業が発達した現代は大変豊かになり、インターネットも含めたデジタルな技術の進歩は私たちの生活を大きく変えましたが、一方で、多くのことを「自分でしたことがない」現実に漠然とした不安を感じ、実際の体験や体感のようなものを取り戻したいと感じているのかもしれない。私の勝手な解釈かもしれませんが…。